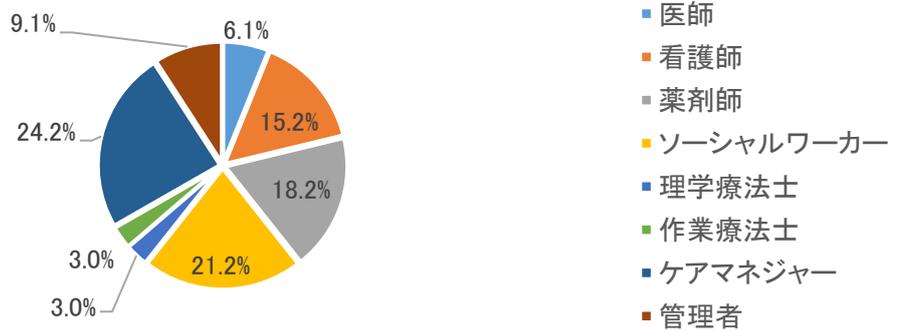


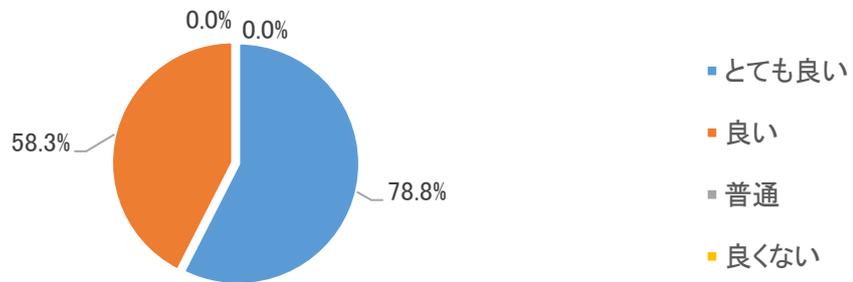
回答職種

回答数:	33	医師	2	看護師	5	薬剤師	6	ソーシャルワーカー	7
		理学療法士	1	作業療法士	1	ケアマネジャー	8	管理者	3



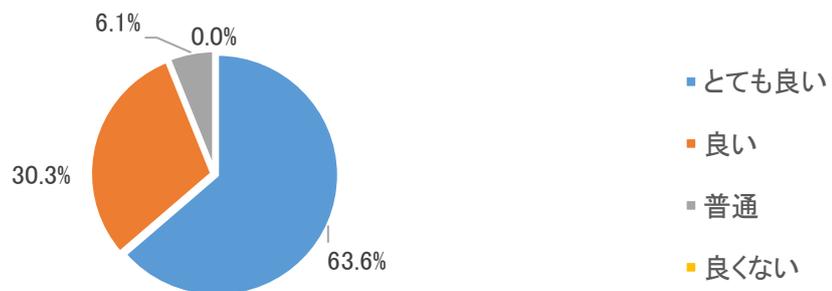
Q. 【講演】「COVID-19に関する最近の話題と感染対策」の内容はいかがでしたか？

回答数:	33	とても良い	26	良い	7	普通	0	良くない	0
------	----	-------	----	----	---	----	---	------	---



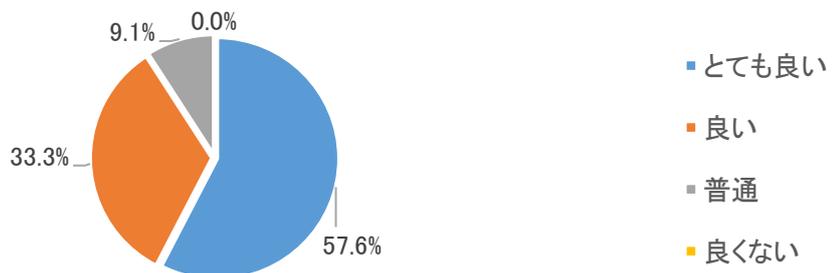
Q. 【発表】「元町地域における取り組み～各職種の立場から～」の内容はいかがでしたか？

回答数:	33	とても良い	21	良い	10	普通	2	良くない	0
------	----	-------	----	----	----	----	---	------	---



Q. オンラインを用いた研修はいかがでしたか？

回答数:	33	とても良い	19	良い	11	普通	3	良くない	0
------	----	-------	----	----	----	----	---	------	---



令和2年度金沢元町在宅医療を考える会研修会のアンケート【集計結果②】

Q. 【講演】「COVID-19に関する最近の話題と感染対策」

の感想やご意見をお教えてください。

- ・とてもわかりやすい講演で参考になりました。ワクチン接種は発症を減らす効果はあるが、感染拡大を抑える効果があるかは不明な点があるということは初めて知って理解が深まりました。高齢者での死亡率が高いことを改めて認識し、医療機関で働く人間として、責任と自覚をもった行動が必要ようであると改めて肝に銘じました。
- ・もう少し自分も感染対策意識を高めようと思った。最新の情報が知れてよかったです。
- ・わかりやすくお話を聞きました。これまで聞いたことが筋を追って聞く事ができました。私たちはもっときちんと知るべきだと思います。だれでもが参加できるような説明会等があっても良いと思いました。
- ・わかりやすく勉強になりました。
- ・わかりやすく説明してくださり、勉強になった。
- ・ワクチンに関する質問が患者さんから多く聞かれており、副反応についての発表がとても参考になりましたし、私自身の不安がなくなりました。また、裏付けのある研究発表を参考にいただき、重症リスクについても再認識できました。レントゲン写真を見せていただき、本気で重症の怖さを知りました。治療方法がわかってくるまで、日々恐ろしく、大変なご苦労だったと思います。感謝いたしました。
- ・医療者の視点から説明していただくことで、改めて、感染対策の重要性を感じた。
- ・各関係職種は工夫して対応しているが、そんなことお構い無しとしている人たちが居てなかなか収束までには時間がかかりそうです。
- ・感染対策だけでなく、ワクチン供給などの話題が盛りだくさんで興味深かった。
- ・基本から最新情報、予防策まで体験的に学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・具体的な症例をまじえて、とてもわかりやすく解説いただき本当に参考になりました。
- ・現場のDr.からの情報が有難かったです。
- ・最新の知識について深く学べた
- ・在宅では新しい情報が入りづらいので、もっと病院からの感染対策や新しい情報を発信して欲しいと思います。
- ・事例を用いて経過の説明をしていただき、身近な感じがしました。あらためて、マスクの効用、感染症対策の基本、特にゾーンをきちんと分けること、考え方が大切だと思いました。ワクチン接種も前向きになれました。チャンスが来たら、逃さないようにします。
- ・専門性の高いお話しで普段聞くことができないお話しでした。
- ・大変わかりやすい内容で、COVID-19に対する理解を深めることができました。ありがとうございました。
- ・大変わかりやすく、参考になった。
- ・知りたい情報が満載で、ためになった。無症状が3割というところが、やはりこわい。ただしく怖がって、ただしく感染対策に励みたい。
- ・知識を整理することができました。有り難うございました。
- ・普段色々な媒体から発信されている事だが改めて専門の先生から聞いて勉強になった
- ・武漢の発生から我々ができることまで詳しく説明していただきありがとうございました。テレビにでていた専門家の方々より、地元素晴らしい先生がいらっしゃることを身近に感じ、うれしく思いました。コロナの状況変化により、情報も進行変化していくので、先生の講義、第2弾も望みます。
- ・薬剤師がコロナ禍で施設内に入れないので、実際の状況がわかってよかった

Q. 【発表】「元町地域における取り組み～各職種の立場から～」

の感想やご意見をお教えてください。

- ・様々な現場の大変さや工夫を知ることができた、お互い思いやりながら今後も協力して仕事をしていきたいと思った
- ・様々な機関や職種がコロナ禍の中で大変な思いをしていることがわかりました。次回は、その中で対策を講じることで良くなったことや改善できたことなどを聞けたらと思います。
- ・包括でもサービス利用や入院中の面会制限、受診控え等による影響が懸念されるケースが散見されました。各立場の方々のご報告、とても心強く感じました。微力ではありますが、包括として求められる役割や活動を担えるよう努力したいと改めて感じました。今後ともよろしくお願い致します。
- ・悩み・困りごとなどが自分だけではない、多職種もみな悩んでおり、それぞれにたいへんだと思った。
- ・土原先生の具体的な院内の様子、患者グラフなどわかりやすかったです。
- ・多職種の取り組みが具体的にご苦労されている点もよくわかりました。
- ・多職種の意見を聞くことができてよかった。今回の意見を参考にしながら、今後の仕事に生かしていきたい。
- ・多職種すべてが恐怖の中で懸命に患者さんの生活をサポートしている姿勢が伝わり、一体感を感じました。これからも連携していこうと思えました。
- ・職種ごとの取り組みが理解できてよかった
- ・次はコロナ禍で共通の利用者の連携等事例があると面白いと思います。
- ・今回各職種から問題が挙げられたので共通認識に終わらせず、他職種で連携して感染対策に取り組む事が大切だと思います。方法、役割を具体化していけば、緊急事態に速やかに対応できるのではないのでしょうか。

- ・後半の発表が詰まった感があります。
- ・限られた発表時間の中で、皆さんお疲れ様でした。コロナ禍でのそれぞれの職種の実情がわかりました。お互いの立場を理解して、連携していこうと思いました。
- ・各職種のいろいろな意見や考えを聞くことが出来て良かったです。
- ・各職種がそれぞれに苦労して、それに対して工夫していることがわかり良かったです。
- ・各機関、各職種がどのような思いと対策を講じているのか知れて良かった。
- ・皆さんの率直な実感を伺うことができてためになりました。
- ・医療・介護従事者としての立場での報告が多く、もう少し患者や利用者・地域住民どういいう影響が出ているかというリアルな報告があると、なおよかったです。
- ・たくさんの職種からの発表が聞けて良かったと思う反面、時間的に余裕がなかったかとも思われます。
- ・それぞれの職種が少なからず、コロナ禍の影響を受けており、様々な工夫で乗り切る努力をなさっていることが良く理解できました。
- ・さまざまな職種の取り組みが聞けて参考になりました。
- ・この地域の方の健康を守るのは自分達医療従事者と改めて考えさせられた
- ・アンケート結果をふまえた改善策も今後知りたいと思った

Q. オンラインを用いた研修の感想やご意見をお教えてください。

- ・オンラインで聞いていた方の感想などが聞けたらよかったです。
- ・オンライン研修は定着した感があり、今後も現地研修と組み合わせて行うのが良いと思います。
- ・これに慣れるととても便利です。
- ・コロナ禍で研修会が少なく、特にCOVID-19について知ることができる講演会を安心できる自宅で受信できる機会を得られてよかったです。今後もよろしく願いいたします。
- ・スライドが見やすい
- ・チャットを通してご挨拶できたので嬉しかったです。
- ・移動時間などが省けて、参加のハードルが下がり、良かったです。
- ・この会の特性を考えると、カメラを有効にしてもらうことをお願いして、少しでも会員の顔が繋がる努力、工夫が一人ひとりの意識の中に重要ではないかと思いました。
- ・また、ソフトウェアの課題になるのかもしれませんが、オンラインでのグループワークなどが今後どのような形で実現出来るのか？も模索出来れば、オンライン研修がより有効になると思いました。
- ・運営する方も、参加する方も少しずつ慣れてきているように感じる。今後の研修のあり方を考えると、さらに習熟していく必要があると思います。
- ・音声コントロールがやや不良でした。ただ（音が出ているときは）音量音質とも良好でした。
- ・会場にいる方には申し訳ないが比較的にリラックスして行える
- ・会場参加でしたので、ソーシャルディスタンスを保った会場運営が良かったと思います。
- ・皆さんの思い等が伝わってきて、オンラインも良かったと思います。
- ・感染拡大防止の観点から物理的には有用だと思われませんが、音声の聞き取りにくさや主催者側の準備の負担等が改善され普及していくとよいと思います。
- ・基本的に研修会は夜が多いので、家庭の都合で参加できない方も多いと思います。コロナ禍が終わっても継続していただけたら、参加者が増えるのではないのでしょうか。
- ・機材の調整お疲れ様です。普段は参加できない会社の同僚も少し拝見することができました。
- ・現在でいるベストのやり方あったと思います。ただ、参加者同士がつながれるように、参加者名簿を発表者や参加者で共有すること、事前資料があるとより良かったと考えます。事後でもよいので、資料を共有すると良いと考えます。
- ・仕事なのでオンラインでないとは参加できなかったです。COVID-19の流行が収まっても、ときどきオンライン研修を開催していただけたら嬉しいです。
- ・時間が有効に使えて楽です。グループカンファレンスも可能。
- ・自宅で気軽に（服装など気にせず…）参加予定できて良かったです。また、他の研修と重複していたのですが、PCとスマホを活用してどちらにも参加予定できて良かったです。
- ・初めて参加させていただきましたがとてもよかったです。
- ・大人数が集まる研修には参加できないので、オンラインを用いることで研修に参加できるので大変良かった。
- ・直接会えないのはやはり寂しいが、こういった状況で顔だけでも拝見できてうれしかった
- ・密にならないし、そこまでいく交通費もかからないし、時間も節約になってありがたい。ただ、質問している声が全然聞こえなかったのが、今後に改善していったらいいと思います。

Q. 研修会を通じて得た新たな気付きや学びがありましたら教えてください。

- ・COVID-19という感染症を十分に理解し、その上でしっかりとした対策を講じ、新しい支援方法を考える必要があると思いました。
- ・DSの利用等について行政からきている通達について知ることができた
- ・コロナ禍の実践がわかりやすく、各職種の相互理解につながりました。企画をありがとうございました。
- ・改めて薬剤師が地域で何が出来るかを考えることができたと思う
- ・皆様熱心に取り組まれておられることを感じました。
- ・各職種、機関がどのような取り組みをしているのか、困っていることが具体化したので、地域でどのような連携が必要か考えるきっかけになったと思います。
- ・各職種のかたの取り組みやご苦労がわかり参考になりました。

- ・ 感染症患者数、通院の減少、薬の減少、、事業所の経営としてはマイナスであるが、市民の健康についてはよいことであるという矛盾に気付かされた。
- ・ 現場の皆さんも同じように思いを持ってこられたのだと元気づけられました。また、現実には遅れていると思う事にあらためて気づきました。例えば、トイレの水はふたをして流しましよとされているのに、学校は未だに和式のところが多い。まず、知らないといけないと思います。
- ・ 思っていた以上に医療従事者の方々のモチベーションが高い事
- ・ 松多さんの報告を聞いて、改めて私たちが支援する対象者は誰で、何を大切に支援をすべきを考えさせられました。患者を取り巻く家族や地域から本人をみる視点も大切だが、本人の思いがすべての支援の出発点であるという原則を大切にしていこうと思いました。
- ・ 前記のとおり
- ・ 多職種すべてが恐怖の中で懸命に患者さんの生活をサポートできる方法を模索していたこと。私たちだけではないという安心感。
- ・ 多職種連携の重要性を再確認しました。
- ・ 包括に求められる役割や活動の在り方について改めて考える機会をいただきました。地域の小さな声や声にならない声に耳を傾け、寄り添いながら「ハンバーグの卵に」のような存在(つなぎの役割で`存在が認識されることは少ないが必要なもの)として地道に活動を続けていきたいと思えます。

Q. この地域に必要と思われるつながり（連携）がありましたら教えてください。

- ・ あまり参加していなかったのに既に実施しているかもしれませんが、新しい情報、取り組みは結果として報告されていますが、タイムリーに情報交換できる場があると良いと思えます。各自の強みを活かして、問題解決していけると良いと思えます。
- ・ このような地域に密着した研修などを今後も続けていただきたいです。
- ・ ライン等のグループ
- ・ 医師の参加を促す。
- ・ 医療と介護(保険)だけでなくセクタ、地域住民や企業なども連携できれば良いと思えます。
- ・ 医療職や介護職などの専門職だけでなく一般住民を巻き込んだ連携が必要だと日々感じております。
- ・ 自分がすぐに動けないので、思いつかないです。すみません。
- ・ 少子高齢化と人口減少が進展しており、年齢を超えた「ゆるやかな縦の支え合い」のしくみが重要だと思います。まずはサービス事業所、医療機関のネットワーク構築が可能ではないでしょうか。そこに地域の既存組織や個人がゆるやかにつながり合う形できると理想ではないでしょうか。
- ・ 政府が言っているように病院、施設、自宅へのシームレスな医療介護連携
- ・ 地域包括支援センターが積極的に関わってきていただくとうい。
- ・ 通所介護事業所の方との意見交換が行えればもっといろいろな意見が聞けたように思います。ヘルパー事業所の方の思いはもっと切実かもしれませんね。
- ・ 利用者・患者の思いやお困りごとを共有すること。多機関と一緒に考える“連携”の在り方について学びが深まると良いと思えます。

Q. この地域に必要と思われるつながり（連携）がありましたら教えてください。

- ・ いつもありがとうございます。
- ・ お世話いただく皆様方ありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。
- ・ このような地域に密着した研修などを今後も続けていただきたいです。
- ・ これからも勉強会を様々な継続するとともに、多くの分野の機関・職種が“同じ目的をもって”交流できるように取り組んでほしい。
- ・ コロナ渦でお互いの動きが見えない部分も多いためこのような研修はとても有意義だと思います。
- ・ 現場の声が聞こえる研修を続けてください。
- ・ 今回の研修をふまえ、webもアリですね、との印象を受けました。
- ・ 在宅を行っている薬局の紹介など
- ・ 集まらないことで、やりにくいでしょうがなんとかこの活動は継続していただきたい。
- ・ 住民に対する講習会または座談会のような感じの集まり
- ・ 上記設問に関わるような活動が良いと思えます。
- ・ 地域特性に合わせたサービスが必要と言われていますが、個人的にはいまいち地域の特性って何なのか見えていません。「これって、国は面倒見切れないからそれぞれにやってよ。と体よく言っているだけなのか？」と感じることもあります。自分の地域の特性を知ろうと思うと、他の地域との違いから見ると強みや弱みが分かりやすいのか？とも思えます。他と比べてこの地域はどういう特性があるから、どの様な課題があり、そこを解決するためにこんな強みを活かしましょう！（もしくは作りましょう。）ということがみんなの力で出来たらいいなあと思っています。漠然と感じています。当会に求める事とは趣旨がズレていたら大変申し訳ありません。